

## *Vibrio cholerae* O135 が分離された肉用子牛の敗血症

又吉正直<sup>1)†</sup> 大橋聡子<sup>1)</sup> 片桐慶人<sup>1)</sup> 安富祖 誠<sup>1)</sup>  
太野垣陽一<sup>2)</sup> 津波 修<sup>2)</sup>

- 1) 沖縄県八重山家畜保健衛生所 (〒907h0022 石垣市大川99)  
2) 沖縄県家畜衛生試験場 (〒900h0024 那覇市古波蔵112)

(2009年1月21日受付・2009年4月13日受理)

### 要 約

2007年、6月沖縄県石垣市で4日齢の黒毛和種の子牛が出生直後から下痢を呈し、その後元気消失、血便を伴い死亡した。細菌学的検査の結果、主要臓器から*Vibrio cholerae* が純培養状に分離され、血清型別によりO135と同定された。免疫組織学的検査では脳などの中枢神経系、肺、胸腺を中心に主要臓器に*V. cholerae* 抗原が確認された。分離菌はコレラエンテロトキシンは産生しなかったが、病原遺伝子であるhlyAおよびtoxRを保有していた。疫学調査では当該農場の環境由来材料からは*V. cholerae* O135は検出されなかった。いっぽう、周辺離島の沿岸域の海水検体からO14, O19, O27およびO170の血清型の*V. cholerae* が分離された。

——キーワード：牛，下痢，敗血症，*Vibrio cholerae*。

----- 日獣会誌 62, 709～712 (2009)

---

† 連絡責任者：又吉正直 (沖縄県八重山家畜保健衛生所)

〒907-0022 石垣市大川99 ☎0980-82-2041 FAX 0980-83-8292 E-mail : matayoma@pref.okinawa.lg.jp